

「運輸・営業分野技術交流会」を開催しました

2019年12月9日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は、「運輸・営業分野技術交流会」を下記により開催いたしましたのでお知らせします。

鉄道総研は、去る2019年11月29日に運輸・営業分野に関する研究開発成果、特に開発製品や実用的な研究成果等をご紹介することを目的として「運輸・営業分野技術交流会」を開催し、鉄道事業者を中心に15社、67名の方にご来場いただきました。講演会では、信号・情報技術研究部 川崎 邦弘部長による「運輸・営業分野における技術開発の動向」と、各成果展示の概要紹介8件を行いました。その後、各展示について展示パネルやシステムの画面や動作等をご覧いただくとともに、参加者の皆様と説明者との間で技術的な質疑や今後の展開等に関する意見交換を行いました。

【今回のポイント】

鉄道総研では、より安全かつ便利で快適なモビリティサービスの実現に向けて、鉄道固有の技術に最新のデジタル技術を融合することで、サービスの価値・効果の定量化や列車の運行管理・制御システムの高度化・低コスト化に関する研究開発に取り組んでいます。今回、主に運輸・営業に関する研究成果から、実用化のステップへ進めようとしている成果8件の講演と展示を行い、実用化に向けた課題等を議論しました。

【運輸・営業分野技術交流会】

1. 開催日時：2019年11月29日（金）15時から17時30分
2. 場 所：鉄道総研 国立研究所 インタラクションスクエア
3. 講演会

(1) 災害ハザード予測を用いた列車停止・旅客避難支援システム

交通計画研究室 副主任研究員 奥田 大樹

(2) イールドマネジメントのための割引商品発売上限数計画システム

交通計画研究室 副主任研究員 中川 伸吾

(3) 幹線鉄道向け駅勢圏推定システム

交通計画研究室 副主任研究員 鈴木 崇正

(4) 座席設定計画システム

交通計画研究室 室長 深澤 紀子

(5) 運転曲線作成システム SPEEDY の機能向上

運転システム研究室 副主任研究員 田中 峻一

(6) ダイヤ改正案に対する乗車率推定システム

運転システム研究室 副主任研究員 辰井 大祐

(7) 列車遅延・輸送実績に対する分析評価システム

運転システム研究室 副主任研究員 國松 武俊

(8) 運用計画作成業務のシステム支援

運転システム研究室 室長 坂口 隆

(9) 運輸・営業分野における技術開発の動向

信号・情報技術研究部長 川崎 邦弘

※(1)～(8)の講演者の所属はすべて信号・情報技術研究部

4. 成果展示

- (1) 災害ハザード予測を用いた列車停止・旅客避難支援システム
- (2) イールドマネジメントのための割引商品発売上限数計画システム
- (3) 幹線鉄道向け駅勢圏推定システム
- (4) 座席設定計画システム
- (5) 運転曲線作成システム SPEEDY の機能向上
- (6) ダイヤ改正案に対する乗車率推定システム
- (7) 列車遅延・輸送実績に対する分析評価システム
- (8) 運用計画作成業務のシステム支援



講演会



成果展示